

大学発の『知』 社会実装

1998年大学技術移転法成立を契機に、日本でも大学の『知』が社会に生かされることが本格化してきた。今世紀に入って、Society5.0と呼ばれる社会が実現間近となり、新しい技術をうみだす『知』の拠点である大学がそれを産業化するための仕組みの重要性が増している。

本シンポジウムでは、新しい『知』の創造者である大学研究者と、それを社会実装する大学発ベンチャーの関係者を招き、大学発の『知』がいかに社会実装されつつあるかの現状を確認するとともに、その課題を明らかにする。

日時

2019年6月21日（金）
13:00～（12:30受付開始）

会場

小野記念講堂

基調講演・パネリスト

『最先端科学で地方創成』

城戸 淳二 氏

（山形大学大学院有機材料システム研究科 卓越研究教授
有機材料システムフロンティアセンター センター長）

1959年大阪府東大阪市生まれ。1984年早稲田大学理工学部応用化学科卒業、1989年ニューヨークポリテクニク大学大学院にてPh.D.修了、1989年より山形大学 工学部高分子化学科 助手、2002年工学部機能高分子工学科 教授、2011年有機エレクトロニクス研究部門 卓越研究教授、現在に至る。この間、有機ELの材料、デバイスの開発に従事、93年には世界初の白色発光素子の開発に成功、経済産業省・NEDOの有機ELプロジェクトの総括責任者、2003年より7年間、山形県産業技術推進機構有機エレクトロニクス研究所長も務めた。近年は、山形大学での研究や技術を活かし、ナチュラルプロセスファクトリー（株）、（株）ベジア、（株）フラスク等のベンチャーを起業、地域振興にも力を入れている。



要事前申込

参加費：無料

懇親会：会員・教職員・学生は無料

※非会員 4,000円

※当日の入会申込も承ります

（ナノテクノロジーフォーラム詳細につきましては、事務局までお問合せ下さい。）

プログラム

13:00～開会の挨拶



笠原 博徳

早稲田大学副総長

13:05～会長の挨拶



大林 秀仁

早稲田大学ナノテクノロジー
フォーラム 会長

<第一部>

13:10～基調講演 城戸 淳二

14:20～招待講演 瀧口 匡

『ハイテク技術の事業化から見えてくる我国
の課題と展望－大学や国研のケースを通し
て－』

15:00～休憩

<第二部>

15:10～講演 細川 正人

『微生物ゲノム1細胞解析技術の開発と
社会実装への挑戦』

15:40～パネルディスカッション

テーマ「大学発の『知』社会実装」

パネリスト：城戸 淳二、瀧口 匡、

伊藤毅、細川 正人、朝日 透

17:30～閉会の挨拶



逢坂 哲彌

ライフサポートイノベーション研究所
特任研究教授
ナノ・ライフ創新研究機構
副機構長

18:00～懇親会

@大隈タワー「森の風」

招待講演・パネリスト

『ハイテク技術の事業化から見えてくる我国の課題と展望』

ー 大学や国研のケースを通してー

瀧口 匡 氏

(ウエルインベストメント株式会社 代表取締役社長)

1986年に野村證券に入社し財務情報部や事業開発部等を歴任。その後、ベンチャーファンドやヘッジファンドのマネジメントを経て、2005年に早稲田大学の認定ベンチャーキャピタルであるウエルインベストメントの代表取締役社長に就任。これまで多くの大学発等の技術ベンチャー企業の成長をサポートしてきた。また、2009年に現在の統合報告書の概念の基礎となった企業のインタングリブルズの研究において早稲田大学で博士号を取得した後、早稲田大学グローバルエデュケーションセンター (GEC)や早稲田大学ビジネススクール (WBS)で客員教授を務める。現在、日本ベンチャー学会理事、JST (元文科省) のSTARTプログラム代表事業プロモーター、国立研究開発法人理化学研究所外部有識者委員会のメンバー等を務める。



瀧口 匡 氏



細川 正人 氏

講演・パネリスト

『微生物ゲノム1細胞解析技術の開発と社会実装への挑戦』

細川 正人 氏

(早稲田大学理工学術院総合研究所 次席研究員)

2010年東京農工大学工学府博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員DC2 (2008年)、日本学術振興会特別研究員PD (2010年)、JSTさきがけ研究者 (2015年) を務める。東京農工大、静岡がんセンターを経て、2013年より早稲田大学を研究拠点とし、微生物1細胞解析の技術を開発。同研究成果をもとに、bitBiome株式会社を2018年に創業。2019年JSTさきがけイノベーション賞、2019年文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。



伊藤 毅 氏



総合進行
橋本 正洋 教授

パネリスト

伊藤 毅 氏

(Beyond Next Ventures 株式会社 代表取締役社長マネージングパートナー)
東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻修了
2003年ジャフコ入社。2008年産学連携投資グループ責任者。大学発技術シーズの事業化支援・投資活動に関して多数の実績と経験。2008年Beyond Next Ventures創業、代表取締役社長就任。2015年2月に1号ファンド (ファンド総額55億円) を設立。2018年10月に2号ファンド (ファンド総額累計100億円超) を設立、アクセラレーターとしては国内最大のファンドを運用し、多数の技術系スタートアップへの投資と、その事業化・成長支援を手掛ける。
主な投資先: CYBERDYNE(IPO)、Spiber、マイクロ波化学、アスタミューゼ、TKP(IPO)など
主な担当領域: ファンド代表として全体統括。医療機器、デジタルヘルス、ロボティクス、その他全般



モデレーター
朝日 透 教授

総合進行

橋本 正洋 氏 (東京工業大学 イノベーション科学系 教授)

モデレーター

朝日 透 氏 (早稲田大学 理工学術院 教授)

主催

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム
✉: nano-forum@list.waseda.ne.jp

共催

WASEDA-EDGE人材育成プログラム
グローバル科学知融合研究所